

かわまち交流センター ↓ 大川小 ↓ 門脇小

語り部と震災遺構巡る

石巻市の一般社団法人石巻圏観光推進機構は17、20の両日、サイクリスト向けの新企画「語り部と走る石巻・大川サイクルツアー」を実施した。コースは石巻市の東日本大震災遺構、大川小と門脇小を自転車で巡る往復約55キロで、4人が参加した。



語り部の鈴木さん(右)から話を聞く堀口さん(左)17日、石巻市の震災遺構大川小

震災遺構、門脇小でも丁寧に展示物を案内した。

17日に参加した津市の市議、堀口順也さん(54)は全国各地の被災地を訪れ、自転車で地域を巡りながら視察を重ねている。

ツアーを終えた堀口さんは「石巻市の豊かな自然を肌で知ることができたし、その自然の持つ恐ろしい側面も体感できた」と話す。

同市中央2丁目の観光拠点施設「市かわまち交流センター」を出発し、北上川沿いを北上、追波川河川運動公園付近から大川小を目指し、新北上川の右岸を走る。三重県は南海トラフ巨大地震への備えを強固にしているさなか、「大川小の悲劇

石巻圏観光推進機構

サイクリスト向け

新企画ツアー始動

った。サイクリストで大川伝承の会および石巻震災伝承の会の鈴木典行さんが同行した。

鈴木さんは震災で当時大川小6年だった次女を失った。大川小では、被災の様子や、その後の経緯、教訓などを話した。もう一つの

石巻圏観光推進機構では、大川小、門脇小の二つの震災遺構を巡るサイクルツアーを今後も継続開催していきたいとしている。